

はじめに



新しい年も早一ヶ月が経過しましたが、ご家族のみなさまにはお変わりなくご健勝のこととお慶び申し上げます。

一月二十六日には、県境の霧島の新燃岳が五十六年ぶりに爆発的噴火し半径四キロメートル以内は立ち入り禁止になる等降灰の関係で生活面等に種々影響が出ているようですが、当学園には今のところ影響ないようです。

ところで、一月の当学園の事業等につきましては、非常に寒い中ではありましたが、計画通り実施され利用者のみなさんも積極的に参加・活動される等学園生活を楽しんでいきます。

六日と七日には、希望された利用者の皆さんが、学園のマイクロバスで二班に分かれて鹿児島神宮に初詣に出かけました。みなさん自分自身やご家族の健康や幸せ等を祈願してしました。

十九日と二十一日には鹿児島市で四十五年ぶりに開催されました木下大サーカスの見学に行きました。空中ブランコ、ぞうやライオ

ンのショー等に熱心に見入っていました。

二十八日には、塚脇小学校の生徒さんや保護者のみなさん達との地域交流会(陶芸教室)が当学園で開催されました。六年生の生徒さんにとりましては卒業記念になるこのことでカップや花瓶等熱心に作成していました。卒業式の前に焼き上がるそうです。

また、十三日には、県の指導監査が二年ぶりに行われましたが、施設運営については、適正になされているという講評でした。

十五、十六日にかけては、家族並びに職員研修会が霧島のホテルで開催され、三家族五名の家族と二名の職員が参加され、最近の障害者自立支援法の動向把握や意見交換等に努めて参りました。

二月の事業等としましては、三日に節分、六日に霧島市の健康福祉祭り、十二、十三日は国分木市等が予定されております。

又、二月は、新年度の事業等についても、平成二十四年三月の新体系移行を踏まえ検討することにしております。

今後も利用者のみなさんの健康管理に十分留意し日中活動支援等を行い、楽しく安心・安全に学園生活が送れますように支援して参りたいと思っております。

最後に、立春は過ぎましたが、まだまだ寒さ厳しい折り、ご家族の皆様のご多幸とご健勝祈念申し上げます。

家族並びに職員研修会



一月十五、十六日の二日間にわたって、県知的障害者福祉協会主催の平成二十二年度の家族並びに職員研修会が霧島ロイヤルホテルで開催されました。

家族職員等三百名程の参加者でしたが当学園からは、桑木野さん、田中さん、早田さんの三家族五名と職員二名が参加しました。

一日目は、「家族会の活動報告」の後、「今後の障害者施策について」日本知的障害者福祉協会の中原会長の講演、休憩を挟んで五班に分かれての「グループディスカッション」が行われました。

二日目は、「家族として思うこと」について二家族から意見発表があり、最後にMBCタレントである猪俣睦彦さんの講演「私の仕事」がありました。

参加した職員の感想としては、「家族の思いをたくさん感じました。今後の利用者支援に役立てていきたい。」とのことでした。

平成二十二年県指導監査

一月十三日は、県始良・伊佐地域振興局の実地指導監査が実施されました。

この指導監査は、二年に一回の割合で実施されていますが、指導監査の内容は社会福祉法人つばみの会における法人運営・施設運営

の実施状況や、職員・入所利用者の処遇状況などが適正に運営されているか、全般に渡って実地に監査を行うものです。

指導監査における対応は、理事長はじめ法人監事二名、施設側からは園長など九名の職員で対応いたしました。

県地域振興局からは、指導監査係長と同監査係の一名が来園され、朝九時三十分から夕方四時三十分まで時間一杯実施されました。

監査結果の監査員の講評につきましては、書類の不備等は多数ありましたが、特に利用者処遇については、利用者の意見を尊重したよい処遇を行っているなど一定の評価していただきました。

今後とも、職員一同、利用者の立場にたった利用者支援に取り組んでまいりたいと考えております。

#### 木下大サーカス見学会

十二月から鹿児島市内のJT跡地で興行している、木下大サーカスの好意により県知的障害者福祉協会を通じ、利用者の皆さんにサーカスショーへのご招待がありました。

当学園の利用者の皆さんも、一月十九日と二十一日の二班に分けて、鹿児島市まで大サーカスショーを見学に行きました。

一班の皆さんは学園から会場までマイクロバスで往復、二班の皆さんはJR鉄道体験も兼ねて電車で国分駅から鹿児島中央駅まで往

復と、趣向を凝らし実施しました。

利用者の皆さんも過去にはサーカス見学はあったと聞いておりますが、久しぶりのサーカスとあって皆さん緊張の面持ちでした。

会場は平日ではありませんが、ほぼ満席の状態で県内各地から各施設の皆さんも同席されておりにぎやかでした。

最初は、団員の皆さんの曲芸やアクロバットショー、空中ブランコショーなどでしたが、最後はぞうやライオンなどの動物による曲芸ショーでした。

サーカスショーは約二時間でしたが、団員の皆さんの息の詰まるようなショーを見て、利用者の皆さんは声援や拍手でにぎわった見学会でした。

皆さん、おつかれさまでした。

#### 塚脇小学校との交流会

一月二十八日は、塚脇小学校との陶芸教室を通じての交流会ということで、毎年小学校の三月の卒業式に併せた行事としてこの時期に実施しています。

小学校からは、児童生徒九名、職員三名、生徒の保護者二名計十四名、学園からは園長はじめ職員四名と利用者の皆さん五名計九名、総勢二十四名が参加して実施しました。

この行事は毎年実施しておりますが、陶芸の直接指導は大浦坂主任にお願いしており、小学生の皆さんや利用者の皆さんも手慣れた

ものであり、時間内にすばやく思い思いの湯飲みや置物など趣向を凝らした陶芸作品を製作しております。

陶芸の完成までには製品の乾燥期間や素焼き・上薬掛けなど、約二ヶ月を要するというところで、完成の窯出しは小学校卒業式の三月中旬頃になるということで、陶芸を制作した皆さんは、今から自分が制作した陶芸品を楽しみにしている様子でした。

塚脇小学校の皆さん、しばらくの時間の交流会でしたがごくろうさまでした。



#### 三月行事予定

- |        |          |
|--------|----------|
| 三月十一日  | 誕生会      |
| 三月十三日  | 縄文の森（出店） |
| 三月十六日  | 役員会      |
| 三月十六日  | 嘱託医来診日   |
| 三月二十一日 | 理髪       |